令和5年度第3回和光市公民館運営審議会会議録

開催日	令和6年3月26日(火)	開会時間	10時00分			
会場	中央公民館 会議室1	閉会時間	11時40分			
委員の出欠状況	柴崎隆史	欠	富澤勝	欠	泉常夫	出
	渡邊丈裕	欠	岸佐登美	出	鈴木紘子	出
	高野靖子	出	長谷川香月	出	河村佳奈	欠
	田中壽美子	出	田中章子	出	原口佐和子	欠
	吉田みゆき	出	柳下創	出		
傍聴者	0名					
事務局	石川教育長、亀井生涯学習課長、山本課長補佐、大野館長、本間館長、長峰館長、山崎主査、平山主任、戸枝主査					
議題	1 議題 (1) 令和6年度三館共催事業について (2) 令和6年度中央公民館事業計画について (3) 令和6年度坂下公民館事業計画について (4) 令和6年度南公民館事業計画について					

○事務局

本日の委員の出席状況を説明いたします。本日の出席人数は9名です。

和光市公民館設置及び管理条例施行規則第11条第2項に定める開催要件の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しております。

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明

和光市公民館運営審議会資料について説明 [資料1](#) [資料2](#) [資料3](#) [資料4](#)

第3回和光市公民館運営審議会の開会

1 教育長あいさつ

2 議題

○泉議長

公民館はご承知のとおり、社会教育施設として必要な位置を占めております。地域社会において、学びや文化の拠点という位置づけであります。市民が集い、様々な教育プログラム或

○教育長

参加されていた方々が「楽しみたい」という気持ちと、「楽しませたい」という熱量の大きさを感じました。それに引き込まれるように私も楽しませていただきました。

こんなにたくさんの方々が市内で活動されていることに驚きましたが、参加団体があまりにも多く、演奏時間が短縮されてしまっていることもあり、本当の意味で活動の成果を出し切れている場になったのかなという懸念がありました。

ただ、あのような熱量が更に大きくなっていくことが、地域を元気になり、活性化していき、市民生活も豊かに繋がっていくのだろうと考えるとあのような場が、年間でもう少しあっても良いのかなと思いました。あまり大きくするよりは、こじんまりした形で複数回あるほうが参加される方々も分散されて良いのかなと、考えさせられました。

○泉議長

ありがとうございました。

私も見ていましたが、100人以上の方が2時間参加されていました。これは、なかなか無いことです。通常はサークル関係の方が自分のサークルの発表を聴くと帰ることが多い中、皆さんがじっくりと聴いてくれたことが良かったのかなと思います。

教育長も仰っていましたが、お祭りとは別のイベントが何回かあっても良いのではと思いました。これだけの方が長時間集まって楽しんでいただいたことは、地域の繋がりに結びつくという感じがしました。お子さんから高齢者の方までが集まってくれた訳ですからこれについて、委員の皆さまからも何かアイデアを出していただければありがたいと思います。

○岸委員

今の繋がりでいくと、南公民館でも先日ディスコやクリスマスコンサート等、数えればたくさん開催しています。スプリングコンサートも、障がいのある方から、子育て中の女性サークルとか、楽器の方から、最後の和光国際高等学校は凄いパフォーマンスありで、楽しめることがたくさんあり、大勢の方に集まっていただけで良かったと思います。

中央公民館ではコラボをしようということで、水墨画と演奏のコラボレーションも開催しました。大きい催しものではなく小さい催しものではありますが、開催しています。

○泉議長

歌のイベントだけではなく、様々なパフォーマンスがあります。今回はアナウンスの仕方が様々な形で提供されていたので、これだけの方が集まったと思います。やはり口コミや広報、公民館だよりなどで皆さまにPRすることが大切です。

話しは変わりますが、地域学校協働活動が公民館事業としてかなり含まれています。以前にもお話しがあったかとは思いますが、再度、事務局から説明願います。

○中央公民館長

地域学校協働活動は、市内にある3つの中学校、大和中学校、第二中学校、第三中学校

がございますが、第二中学校の拠点公民館として中央公民館、第三中学校の拠点公民館として南公民館、大和中学校の拠点公民館として坂下公民館で、子ども達のためにできることを何かやって参りましょうということで、協働本部が立ち上がりました。

令和4年度から始まり、2年目の令和5年度においては、中央公民館は広沢小学校の依頼を基にバドミントンのサークルと卓球のサークルの仲立ちをさせていただきました。

○坂下公民館長

坂下公民館では、子ども達の安全を守る取り組み、環境整備や教育活動の支援、学校連携、公民館等の施設の活用、地域活動の情報発信をっております。三館共に開催していますが、施設活用として空き部屋を活用した自習室の開放を、春・夏・冬休みにしているというところがあります。また、この活動そのものを周知するために、坂下公民館まつりで各学校のパネルを紹介しました。

その他、田中副議長を始め利用団体皆様のご協力を得て、大和中学校、白子小学校、新倉小学校に出向いていただき、書初めを指導していただきました。他にも、子ども達に卓球を指導するというので、利用団体の方々が参画されております。

公民館として今後、周知し広めていくということで、先日、学校協働本部の事務局職員を講師として招き、利用団体の方々に説明させていただきました。最終的には、地域の方、公民館、学校利用者を巻き込んで、子ども達の居場所づくりや利用者が高齢化・固定化されていることを踏まえて、これからの利用者である小・中学生を如何に巻き込むかという形を検討しております。

○南公民館長

南公民館は、第三中学校、第四小学校、第五小学校となります。

中央、坂下と同様の取り組み以外のものご説明します。南公民館では、第五小学校の一年生の授業でチューリップの植え方や育て方を、中央公民館の登録団体の方にゲストティーチャーとしてお招きして、お話しをしていただいております。今年度は、3月にその成長過程を利用団体の方に見ていただき、子ども達を褒めていただくなどしております。

また、NPO 団体の方から第五小学校裏にある白子川の中に生息する生物の説明をし、その後実際に川に入り、生物を観察しました。湧水が実際に出ているところを見たりして、話しだけではなく実際に体験することで、子ども達の目が輝いて見えたのが印象的でした。

その他では、現役のサッカー選手をお招きしてサッカー教室の指導をしていただいたり、和光市で体操教室を行っている方に走り方の指導をしていただきました。

また、第四小学校・第五小学校の二年生の生徒が、公民館見学で訪ねて来てくれました。活動団体さんから許可をいただき、生徒に公民館で活動している方々の様子を見てもらったり、一緒に合唱に参加してもらったり、手芸団体からは公民館まつりへのお誘いがあったりと、生徒との交流を持っていただきました。生徒からもとても楽しかったという感想をもらいました。

他に、第四小学校では、昔遊びとして地域の方20名に学校へ来ていただき、けん玉、おはじき、コマ、カルタ等を1年生に教え、一緒に遊んでいただきました。そこから派生し、地域の方々がみなみ保育園でけん玉教室の指導に行っていたりするなど、様々な場所でご活躍いただいております。

○泉議長

公民館として、地域学校協働本部に支援・協力して実施している訳ですが、子ども達の体験がポイントになるかと思います。令和4年度から始まり、まだ一年しか経っていない中で、公民館が一つの担い手として子どもに対する教育支援をしていることを認識していきたいと思います。

○田中(章)副議長

坂下では、団体の代表と公民館を利用している人達が、セミナーとして集まる機会がありました。スライドを見せながらの報告があった訳ですが、やる方と企画をする方と助ける方との接点となったセミナーでした。結果、詩吟の方は日本の文化として子ども達に詩吟を教えたいとか、近所のマンションの自治会の代表の方もお花を植えることが好きなので教えたいとか、接点がありました。やって良いという団体が出てきたことは、すごい成果だと思っています。

○岸委員

どのくらいの参加団体があつて、どういう反応だったか、教えてください。

○坂下公民館長

3月7日に地域学校協働本部の方を講師として迎え、地域で活動している公民館利用者に理解していただき、たくさんの方々に協力していただけないかという形で、1時間行ったものです。8団体が参加し、主に坂下の利用団体として、お花、日本画クラブ、詩吟、太極拳、クラブ連絡協議会、アスナル教室、新倉長寿会の方々などに、協働本部はこういうことをやっているという説明をし、協力していただけることがあればお願いしますという形で、地域課題講座として開催させていただきました。

○泉議長

私も南公民館主催の研修に参加しましたが、皆さん様々なことをやっているなと思いました。学校開放の時代というのが一つのキーポイントです。子ども達のことについて、色々取り組んでいるということです。次年度の公民館の事業計画ですが、地域学校協働活動の意味を含めた事業が多くあります。これらを踏まえた上で、事業計画についてご意見があればいただきたいと思っています。

それでは、和光市公民館事業計画について、三館共催事業計画について、ご説明願います。

○中央公民館長

令和6年度三館共催事業計画について、資料に基づき説明

○泉議長

ただ今の三館共催事業について、ご質問やご希望がありましたら、お願いします。

○高野委員

市民の方が一度でも公民館に足を向けるような講座があると良いと思います。私も60年住んでいますが、用事がない限りは公民館に来たことがありません。一般の家庭の方に言わせると、公民館は用事のないところだということです。これから少子化で子どもが少なくなりますので、一般の家庭の方が利用しなくなると、公民館の価値がなくなると思います。

自治会を通してでも良いので、一般の家庭では公民館にどのようなことを望んでいるのか、どのような考えを持っているのかを知りたいと思います。一度でも公民館に足を運べば、こんなに凄いイベントを行っているのかを分かってもらえます。

○鈴木委員

私は和光市に住んで20年くらいになりますが、公民館自体に馴染みはありませんでした。

和光市は子育てに優しい市で、子育てというのは孤独な部分もあって、親が近くに居ない、ご主人もお勤めでいない、しかしちょっとした事でも相談したい、という時に和光市の方々が同じような市民の方を集めてサークルを作ってくれたのがきっかけで公民館を利用して、子ども達を皆で育てながら、そしてチームができて活動することになりました。

その子ども達が中学生となり、なかなか勉強しないので公民館で自習室を開放していただき、みんなで勉強しようというのは良いことだと思いました。南公民館では定期的に「子ども食堂」を開催していただいているので助かりますというお話を以前させていただきましたが、お昼が公民館で食べられたらと思いました。調理実習室や広場などで食べられるというお声がけをいただくと、より自習室が使いやすくなると思いました。

子ども達は公民館で勉強したという記憶があると、大人になった時に公民館を身近に感じ、私でも教えることができるようになるのではないかと思います。

○泉議長

ありがとうございました。

○田中(章)副議長

今のお話の中で飲食がありました、公民館での飲食はどうなっていますか。

○中央公民館長

中央公民館では、副議長が仰るとおり、コロナがまん延していた時期は水分補給のための飲料水のみでした。しかし、今はコロナは五類に移行しましたので、共有スペースでは飲食はできませんが、ご自分達が借りている部屋のみであれば可能です。

○坂下公民館長

坂下公民館では、ご存知のとおり調理実習室が大変狭いので、セットで別の部屋を借りていただいて、作ったものを試食していただいて構いません。飲食は良いと言ってしまうと部屋で宴会等をされてしまう恐れもあり、ゴミや臭いの問題もあります。利用者全員の場所でもありますので、利

ユーザーの意見も聞いた上で判断していくべきものなのかと感じています。

○南公民館長

南公民館では原則として飲食は禁止ですが、飲み物は制限していません。

以前、ゴミ箱を置いていましたが、現在は置いていません。ゴミ箱を設置していた時は、かなりのゴミが出ていましたが、ゴミが有料化となり、自分達のゴミも有料で出しておりますので、ゴミ箱は設置せずに持ち帰っていただいております。

飲食に関しては中央公民館と同様で、利用していただいている部屋での飲食は可能ですが、持ち帰っていただくようお願いしております。飲食可能という言葉が、受け取る方によっては「何でもあり」と受け取られてしまうのも事実です。そうすると、「ゴミも処分してくれ」という方が少なからずいらっしゃるのも事実です。そういう方に対し、どこまでご協力いただけるのかも含め飲食に関して考えていかなければならないと思います。

○田中(章)副議長

大変難しい問題ですので、今までどおりで宜しいですね。全面解禁は無理ですね。

○南公民館長

臭いがある物を食べてしまうと、なかなか臭いは消えづらいという問題も発生します。個別に公民館職員へご相談いただいた方が良いかと思います。

○中央公民館長

中央公民館の場合は、午前と午後を続けてご利用の団体がお部屋で召し上がる事が多く、午前だけを利用した団体がお昼を召し上がることはないと思います。

○泉議長

飲食について三館とも、同じような形で行うように、意見統一していただきたいと思います。基本的には利用団体から相談があって対応していると思いますので、よろしくお願ひします。

続いて、各公民館の事業計画について説明をお願いします。

○事務局

資料に基づき、令和6年度中央公民館事業計画について説明

資料に基づき、令和6年度坂下公民館事業計画について説明

資料に基づき、令和6年度南公民館事業について説明

○泉議長

ただ今、各公民館から事業計画について説明がありましたが、ご質問やご意見がありましたら、お願ひします。

○岸委員

坂下公民館の子ども料理教室では参加者が6名とありますが、そんなに入ると危険という意味ですか。

○坂下公民館長

坂下公民館の調理実習室は調理する方しかいられないくらい、スペースが狭いところですが。講師の方も手取り足取り教えられ、ケガや事故もないようにということで、このような設定になっています。内容や場合によっては、保護者も同伴したいということもありますので、そういう場合は、調理実習室前の和室で見届けていただくようにお話ししています。

○岸委員

それでも、もう少し受け入れていただいても良いような気がします。

○泉議長

他には、いかがですか。

○長谷川委員

公民館利用者研修会は、公民館を利用している人達に「公民館はこういう所ですよ」と教えるのはわかるのですが、出席したくないという方々に話を聴いて欲しいと思うのです。しかし、なかなかできないと思うのです。その人をどのように参加させたら良いのか、と思います。

○泉議長

アナウンスの仕方です。公民館研修会というと堅苦しいので、何か別の名称を考えた方が良いでしょう。

○吉田委員

この会議に参加させていただくまで、公民館がどのようなことをやっているのか、興味を持たないとなかなか内容まではわかりませんでした。しかし、参加してみたいと思うことをたくさんしていただいていることがわかりました。ただ、子どもに「こういうことをやっている」と話すと、「行ってみたい」と言うのに、場所が公民館だと分かると「行かない」と言われてしまいます。児童館でやっているとうわかると「行く」と言います。小学校に入る前の年長の頃、児童館とか学童等の見学に行った記憶がありますが、公民館には見学はありますか。そこで、子ども達に楽しそうな講義があり、子ども達が行きたいと言えば、親は行かざるを得ないと思います。親が公民館に行くきっかけになるかな、と思いました。

○泉議長

公民館見学会は、小学生だけでなく、記憶に残る意味でも幼稚園や保育園の園児から公民館に親しんでもらう必要があるのかな、と思います。

○田中(壽)委員

高齢の方の中で自由に歩いたり、自転車に乗ったりできる方もいますが、公民館へ行きたいのに足がない方も増えて来ると思います。

○高野委員

例えば、南公民館で「だしの取り方」の講座が2回とありますが、どのくらい前にお知らせを出しますか。

○南公民館長

広報は1か月前に載せます。後はホームページ、LINE、Twitter、公共施設等にチラシを置いていただけたところに配付しています。回数については、講師の方と打合せをして決定しております。この講座の講師の方は大変有名になってしまい、多忙で日程を確保するのが難しい状況になっています。講師との交渉の上で、回数を決めて行かざるを得ません。

ご要望として複数回やって欲しいという場合でも、叶わない場合もあり、そうすると1回になる場合もあります。

○岸委員

私は北原小学校の近くなのですが、遠いせいか、あまり話題に上らないと思います。それはどうなのかな、と思いました。

○泉議長

地域学校協働本部の中で大和中学校も坂下公民館に含まれています。その辺りも含めて地域割りも考えていければと思います。

では、その他について、事務局からお願いします。

○中央公民館長

伝達事項として申し上げます。

3月28日木曜日に、田中章子副議長が公民館運営審議会委員として、長年に渡る社会教育の振興に寄与された功績ということで、和光市教育委員会表彰を受賞されることになりました。平成11年7月から現在に至るまで、公民館運営審議会委員の議長として4年、副議長として6年9か月職責を担っていただいております。

次に、令和5年度公民館運営審議会は、今日の会議をもちまして終了となります。次回の会議は、令和6年度最初の会議となります。日程及び審議内容につきましては、改めてご連絡申し上げます。

○泉議長

それでは、本日の審議内容は全て終了いたしました。色々ご意見をいただきましたこと感謝申し上げます。引き続き私達委員も職員の方々も地域の皆さまに対して積極的に公民館活動を支

援していただければと思います。

和光市の公民館活動がより充実していけたらと思います。委員の皆さまから様々なご意見をいただきましたことは、大変嬉しく思います。

令和6年度も引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

これもちまして、第3回和光市公民館運営審議会会議を終了いたします。

議事録署名人 岸 佐登美

長谷川 香月